

叙勲を祝つて

事務局

勲三等旭日中綬章

大分大学名誉教授

富来

隆先生

別府史談会も昭和六十一年に発足して、五年を迎えます。機関誌「別府史談」も第五号の刊行を終り、わが市の新たな歴史的景観が会員の皆さんの手で次第に明らかになりつつあります。郷土を知り、郷土を愛し、よきものを次代に残すべく、今後とも啓発の活動を続けて行きたいと考えます。

このたび、平成三年度、秋の叙勲で、本会の特別会員である富来隆先生と中野幡能先生が晴れの叙勲の栄にようくされました。

両先生には、これまで、史談会の運営や、研究にいろいろとお世話やご教授をいただき感謝いたしています。

両先生ともご健康には充分お氣をつけられて、ますますご研鑽をつまれますようお願い申し上げます。

別府史談会の会員一同、叙勲のお祝いを申し上げますとともに、今後のご発展を心よりお祈りいたします。

二十年前にわずらい、体力が衰えましたが、人並みに務めを果たすことができました。それだけにうれしい受賞です。東・西日本の違いを基本として、生活に結びつく社会学の指導をしました。が、今後も原稿を書きつづけ、文化、教育の発展に寄与できるよう努力を続けたいと思っています。(十一・三 大分合同新聞より)

勲三等瑞宝章

県立芸短大名誉教授

中野幡能

先生

なんといいのかわからないが、ありがたくもつたいなことです。県立芸短大の創設にかかわったことは忘れられない思い出です。受賞は学問一筋の私を理解し支えてくれた妻のおかげで、恩返しができました。現在手掛けている「宇佐神宮史」の編纂を何とかやり遂げたいと思っています。(十一・三 大分合同新聞より)